



アントレプレナーファイナンス実践塾

第12期 塾生募集

主催 ● 現代経営学研究所 戦略的企業家教育センター
後援 ● 神戸大学大学院経営学研究科

指導担当 ● 神戸大学大学院経営学研究科 教授 忽那 憲治(くつな けんじ)
http://www.b.kobe-u.ac.jp/kutsuna/

開催趣旨

ベンチャー企業のアントレプレナーは、不確実性の高い事業環境で高度な経営的意思決定を行うために、ビジネスプランニングとそのためのファイナンスに関わる知識の習得が不可欠です。もちろん、こうした知識は独立系ベンチャー企業のアントレプレナーのみに求められるものではなく、企業のなかで新規事業を創造するコーポレート・アントレプレナーや、大学発ベンチャーを運営するアカデミック・アントレプレナーにとっても不可欠なものです。

いくら素晴らしい事業アイデアや技術を持っていても、ファイナンスの知識なくしては、成長のための資金を調達することも、株式公開に向けた有効な資本政策を考えることもできません。ベンチャー企業に資金を供給するベンチャーキャピタリストにおいても、投資先企業に対して付加価値の高いサービスを提供するためには、ビジネスプランニングやファイナンスに関する理論に基づいた行動が重要です。

アントレプレナーファイナンス実践塾では、株式公開を目指している成長期にあるベンチャー企業のアントレプレナーと、若手中堅クラスのベンチャーキャピタリストを対象に、ビジネスプランニングから、ベンチャーキャピタルの投資を経てIPOに至るまでの一連のプロセスにおけるファイナンスの基礎知識を習得してもらうことを第1の目的としています。

しかし、アントレプレナーファイナンス実践塾は、このような基礎知識の習得にとどまるものではありません。習得した基礎知識をもとにして、グループ討議と全体討議を通じて、指定した実

践的課題に関して意見交換を行います。こうした討議を通じて、アントレプレナーとベンチャーキャピタリスト両者にとって好ましいファイナンスの在り方は何かについて分析・検討することが第2の目的です。

第6回目の最終講義では、アントレプレナーにビジネスプランを発表してもらい、ベンチャーキャピタルからの実際の資金調達につながる可能性を追求します。こうした討議を通じて、アントレプレナーにとっては、自社のビジネスモデルを練り直すための貴重な機会となるでしょう。ベンチャーキャピタリストにとっては、ファイナンスの理論を基礎にした、ベンチャー企業に対するアドバイス能力を高めるための訓練の機会とすることができます。

最後に、アントレプレナーファイナンスの実践においては、アントレプレナー間、ベンチャーキャピタリスト間だけではなく、アントレプレナーとベンチャーキャピタリスト間でネットワークを構築しておくことが、将来の事業展開において貴重な資産になります。アントレプレナーとベンチャーキャピタリストの人的ネットワークの形成、お互いが高い目標に向かって高めあうことのできるコミュニティを構築することも、アントレプレナーファイナンス実践塾の大きな目的です。



対象者

①アントレプレナー(御社のCFOを含む)

- 将来急成長を達成し、株式公開を実現したいと思っているが、ファイナンスの知識が不足していると感じている方
- 企業を成長させるためにベンチャーキャピタルから資金を調達したいと思っているが、どのような点に注意して資金を調達すればよいのかよくわからない方
- 自社のビジネスモデルが成長可能なものなのかをチェックしたいが、そのためにどのような点に注意してチェックすればよいのかよくわからない方
- 大企業のコーポレートベンチャーとしてベンチャー企業の経営を担当することになったが、ファイナンスの知識が不足していると感じている方
- 大学発ベンチャーとして企業を立ち上げたが、技術のことはわかって、ファイナンスの知識が不足していると感じている方

- 独自の方針でこれまで成長を模索してきたが、他のアントレプレナーやベンチャーキャピタリストから幅広く意見を聞いて、ビジネスモデルをもう一度再検討したいと感じている方
- 今後の自社の成長戦略を考えたとき、ファイナンスの基礎理論を習得した財務担当役員を育成する必要があると感じている方

②ベンチャーキャピタリスト

- 大学を卒業して大手ベンチャーキャピタルに就職したが、ファイナンスについての理論的な知識が十分に習得できていないと感じている方
- 銀行本体で長らく融資業務に携わってきたが、子会社の銀行系ベンチャーキャピタルに勤務するようになったものの、ファイナンスの理論的な知識が不足していると感じている方
- 大手製造業で長らく営業等の業務に携わってきたが、コー

- ポレートベンチャーキャピタル部門に勤務するようになったものの、ファイナンスの理論的な知識が不足していると感じている方
- 独自の方針でこれまで投資を実施してきたが、アントレプレナーや他のベンチャーキャピタリストから幅広く意見を聞いて、自らの投資のあり方をもう一度再検討したいと感じている方
- 今後の自社の投資戦略を考えたとき、ファイナンスの基礎理論を習得したベンチャーキャピタリストを育成する必要があると感じている方

プログラム

アントレプレナーファイナンスの先進国であるアメリカでは、アントレプレナーとベンチャーキャピタリストともに、ビジネススクールでアントレプレナーシップに関する幅広い知識を習得した後に、実践で経験を積み活躍しています。多くのアントレプレナーやベンチャーキャピタリストがMBAホルダーであることから、アメリカの進んだ実態を伺うことができます。一方、わが国の場合は、こうしたアントレプレナーシップに関連する基礎知識を大学のMBAで習得したうえで、実践で活躍している人は

むしろ少数派であるといえます。アントレプレナーファイナンス実践塾では、MBAのアントレプレナーファイナンスの講義や演習で提供されている内容を、6カ月程度の短期間で習得できるように、基礎知識の習得(個別講義)と、実践へのフィードバックが可能となるように参加メンバー間での意見交換(グループ討議と全体討議)を組み合わせて、プログラムを設計しています。

スケジュール、費用等

開催日程 ● 2015年4月～2015年9月の第3土曜日

会場 ● プレグレッソン松山(愛媛県松山市湊町4-5-6 プログレッソン松山2F)

	講義内容
個別講義	4月18日 第1回 ●ビジネスモデルの検討
	5月16日 第2回 ●財務モデルの作成とリスク分析
	6月20日 第3回 ●リスクキャピタルの調達とバリュエーション
	7月18日 第4回 ●ディールストラクチャー
	8月15日 第5回 ●投資回収・成長戦略としての新規株式公開(IPO)とM&A
	9月19日 第6回 ●ビジネスプランのプレゼンテーションと総括
グループ討議	4名程度で1グループを編成し、個別講義で習得した基礎知識をもとにして、講師が設定したテーマについて分析・意見交換を行います。議論するテーマについては、講師が当日設定します。
全体討議	グループ討議を受けて、全体討議を行います。

備考 講義では、エクセルとシミュレーションの専用ソフトウェア(デジジョンシェア)を使用しますので、エクセルがインストールされたノートパソコンを持参してください。専用ソフトウェアのインストールの方法については、改めて指示します。

応募締切：2015年3月20日(金)

開催時間 ● 各日10:00～18:00 募集人数 ● 15名程度 修了者には、修了証書を授与します。

費用 ● 1人 20万円(消費税別) ※初回開始までに全額納入をお願いします。

必要書類 ● 以下3点を添えて申込をお願いします。

- ①履歴書 ②参加動機(A4で1枚程度) ③事業内容がわかる会社パンフレットもしくはウェブのアドレス

申込み・問い合わせは

特定非営利活動法人 現代経営学研究所(RIAM)

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1神戸大学大学院経営学研究科内(第三学舎一階)
担当: 若命(わかめい)

e-mail: wakamei@riam.jp TEL:078-803-6985/078-805-1623 FAX:078-805-1624

現代経営学研究所(RIAM)の詳細は、HP(<http://www.riam.jp/>)をご参照ください。

●実践塾の目的やプログラムおよび塾生の詳細については、下記をご参照ください。
<http://www.b.kobe-u.ac.jp/kutsuna/entre/vf.html> 忽那 憲治著『中小企業が再生できる8つのノウハウ』朝日新聞出版、2010年。